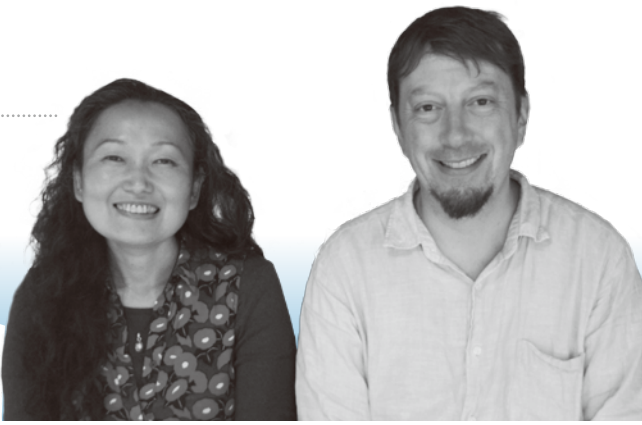


## ムートン セバスティアンさん & 玲奈(レイナ)さん

### 古民家『ひもろぎ』は本来の自分に気付ける場所。 世界中の人に来てほしい!



#### ■2010年に初めて来日されたということですが、きっかけは何だったのでしょうか?

(セバスティアンさん) 私は旅が趣味で、特にアジアが好きで、休職中にインドやネパールを2か月半ほど旅しました。アジアの中でも日本は遠い国という印象があり、その当時は費用もかかったので、日本を訪れることはないと思っていましたが、その旅で妻となる玲奈に出会ったことが日本に来るきっかけとなりました。

初めは観光で桜の季節に京都を訪れ、その風景に感動しました。一旦、フランスに戻りますが、日本への興味が深まり、ワーキングホリデーのビザを取り、その年の夏頃からは京都の古民家で暮らしながら、フランス語と英語の講師をしていました。京都は古い文化を保ちながら、しかも外国人も多く、アーティストや学生など年齢や国籍も様々な多文化の街で、とても面白いところだと思いました。

#### ■玲奈さんは京都のご出身なのですか?

(玲奈さん) 私自身は埼玉出身ですが、語学力を高めるため、ワーキングホリデーのビザを取り、オーストラリアやドイツなど、様々な国で仕事やボランティアをしていました。京都に来たのは、外国で出会った日本人の友達が関西出身で、その気さくな人柄に圧倒されたと同時に、その人柄に惹かれ、関西で住みたいと思いました。中でも京都は関東に住む私にとっては異国で、日本の文化を味わい、世界中の人と楽しみながら暮らせるといった不思議な魅力のある街でした。

#### ■そんな京都から滋賀に移住されたのはなぜですか?

(セバスティアンさん) 2年間古民家のシェアハウスで暮らしましたが、自宅でも語学教室を開きたいと思い、新たな住まいを探していたところ、大津の三井寺近くの古民家の情報に目が留まりました。素敵な佇まいで一目で気に入り、その場所を「プチフランス大津」として、フランス語と英語の教室を始め、10年間過ごしました。そして、2年前の2022年に現在の野洲に拠点を移しました。語学の教室だけでなく、広く様々なことを企画して活動し

ていくには狭くなってきたからです。築150年の古民家を『ひもろぎ』と名付け、フランス語や英語教室の他、このスペースを活かしたイベントやワークショップ、カフェ、宿泊、尺八道場などを随時計画し、実行しつつあります。

#### ■京都から大津、そして野洲に住居を移され、何か違いや戸惑いはありましたか?

(玲奈さん) 滋賀の人は皆さん親切で、特に野洲での暮らしはとても居心地がいいです。ただ、『ひもろぎ』でのイベントには町内の方にはまだまだ参加していただけていないので、ここで活動していることを認知していただけるような催しを企画していきたいと思っています。セバスティアンは地域のお祭りなどに積極的に参加して、町内会に溶け込もうとしています。

#### ■ところで、セバスティアンさんは尺八の師範をお持ちで尺八道場もされているとのことですが、尺八を吹くきっかけは何だったのですか?

(セバスティアンさん) 私は山に登ることも好きで、大津に来て比良山系の武奈ヶ岳を登り高島の八ツ淵の滝を見に行った時に、たまたま京都の尺八の先生に出会いました。高島駅からバスに乗って八ツ淵の滝に向かったのは私と先生の二人だけで、話が弾んだこともあって、尺八を吹くことに興味を持ち、そこからのスタートです。それまでは楽器を奏でるという趣味は全くありませんでしたが、そもそも私は仏教が好きで禅や瞑想、修験道に興味を持っていたこともあり、「吹禅」(尺八を吹くことをもって禅の修行とすること)と言われる「明暗尺八」に心酔していききました。

#### ■『ひもろぎ』での今後の展望を教えてください。

(セバスティアンさん) 2016年から京都と奈良の公認ガイドとなって外国人の観光ガイドを務めています。今はインバウンドで観光客が多く、観光ガイドの仕事が忙しいのですが、できたら滋賀の観光案内をしたいと思っています。滋賀は大津の日吉大社や近江八幡の長命寺、東近江の太郎坊宮など、魅力のあるところばかりです。京都と違い人があまり訪れな

▲「古代信仰への興味が原点にある私たちは、神様が天からお降りいただくための場所、神籬(ひもろぎ)からこの古民家の家号を『ひもろぎ』と名付けました。自然への畏敬の念を抱く、そんな暮らしをしたいと思っています」とご夫妻。

#### ●プロフィール●

ムートン セバスティアンさん / フランス出身 野洲市在住

フランス語・英会話講師、観光ガイド  
2010年に京都を訪れたことがきっかけで日本が好きになり、日本に移住。フランス語と英語の講師を始め、2016年からは京都と奈良の公認ガイドとしても活動。尺八は師範の腕前を持つ。現在は野洲市で築150年の古民家『ひもろぎ』で語学教室『コトノハ』や尺八道場を主催する他、さまざまな催しを妻の玲奈さんと共に企画している。玲奈さんはハーブ研究家のベニシア スタンリー スミスさんの語学スクールの運営や翻訳出版に関わり現在に至る。

\*インスタで「himolqi(ひもろぎ)」と検索してください。



▲尺八の「明暗導主会」のメンバーの方が『ひもろぎ』を訪れ、セバスティアンさんと3人で即興で尺八を奏でる。

※「明暗導主会」は全国約170人の禅の尺八の会

のような穴場も魅力で、そうしたところの独自ツアーを考えたいと思っています。

(玲奈さん) 『ひもろぎ』ではすでに、生活クラブ等の企画で、味噌作りのワークショップや震災に遭われた方のリフレッシュツアーの場所として、ここを利用いただいています。ここでは、単に観光的なものではなく、ものごとの神髄を感じてもらえるようなことをしたいと思っています。『ひもろぎ』を訪れた皆さんが本来の自分に気づき、自分自身が大切な存在だと伝えられる場所にしたいんです。日本人だけでなく世界中の人に来てほしいと思っていますので、そんな場所になるような企画をどんどん実現させていきたいですね。